

豊橋市上水道施設小鷹野浄水場緩速ろ過池（おだかのじょうすいじょうかんそくろかち）：土木構造物
 1基/東小鷹野二丁目9-3/鉄筋コンクリート造、面積5,236㎡/昭和4・6年/豊橋市上下水道局

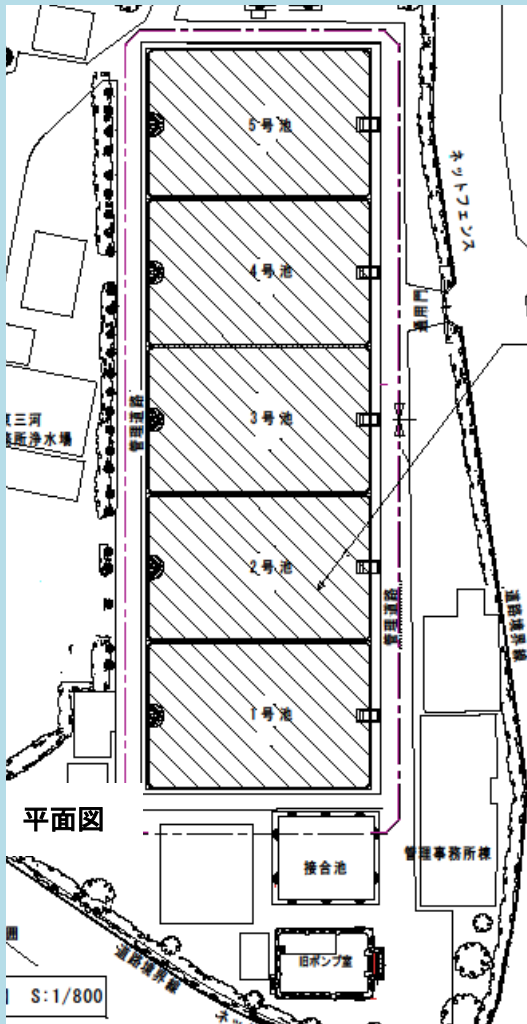
小鷹野浄水場緩速ろ過池は、敷地のほぼ中央に南北方向に5池が配置されています。当初、ろ過池は1～4号池の4池（内1池は予備）で計画され、流速調整のため昭和6年(1931)に5号池が増設されました。



全景

規模は、全体で長さ130.9m×幅40.0m、有効貯水量は約5,320㎡です。長方形の各池は、縁辺に花崗岩を貼り、四隅は丸みを付けています。各池は深さが3m程で、内部に砂・砂利・煉瓦が敷かれ、流速1日4～5mのろ過を行っています。

この緩速ろ過方式は、性質上藻が発生しやすく、数カ月に一度人力で藻の除去や砂の入れ替え必要で、これら5池は、補修や砂の入れ替えなどを行いながら、現在も稼働しています。



平面図



流入口



ろ過池清掃の様子



砂入替えの様子